

令和9年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和8年8月7日

上場会社名 中日本興業株式会社

上場取引所 名

コード番号 9643

URL <http://www.nakanihonkogyo.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）貴田 吉晴

問合せ先責任者（役職名）取締役 感動創造支援本部本部長

（氏名）加藤 康章 （TEL）(052) 551-0274

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 令和9年3月期第1四半期の業績（令和8年4月1日～令和8年6月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
9年3月期第1四半期	990	8.6	27	—	35	411.4	25	—
8年3月期第1四半期	912	12.5	△1	—	7	—	0	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
9年3月期第1四半期	48.71	—
8年3月期第1四半期	0.08	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
9年3月期第1四半期	5,759	3,633	63.1
8年3月期	5,888	3,604	61.2

（参考）自己資本 9年3月期第1四半期 3,633百万円 8年3月期 3,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
9年3月期	—				
9年3月期（予想）		30.00	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和9年3月期の業績予想（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,760	△8.8	50	△69.6	70	△62.6	50	△60.9	94.24

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

9年3月期1Q	540,000株	8年3月期	540,000株
9年3月期1Q	9,443株	8年3月期	9,443株
9年3月期1Q	530,557株	8年3月期1Q	530,557株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、国内の物価の高騰、国際情勢での地政学リスク長期化によるエネルギー価格の高止まりや米国の通商政策の動向等により、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと当社では、より満足いただける環境を創りあげ、厳選した様々な作品・商品をご提供することで、お客様により楽しんでいただけるよう努めてまいりました。

この結果、売上高は9億90百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は27百万円（前年同期は営業損失1百万円）、経常利益は35百万円（前年同期比411.4%増）、四半期純利益は25百万円（前年同期は四半期純利益0百万円）となりました。

【シネマ事業】

シネマ事業においては、アニメ作品が引き続き好調を維持し、洋画のヒット作品も続きました。また、映画の上映に留まることなく、独自の企画運営をし、イベント付きの上映会の継続実施、ODSの興行に注力してまいりました。主な上映作品としまして、邦画では、4月公開「SAKAMOTO DAYS」、5月公開「箱の中の羊」、洋画では、5月公開「プラダを着た悪魔2」、5月公開「スター・ウォーズ/マンダロリアン・アンド・グロージャー」、6月公開「Michael/マイケル」、アニメでは、4月公開「名探偵コナン ハイウェイの墮天使」、4月公開「ザ・スーパーマリオギャラクシー・ムービー」、ODSでは、4月公開「シネマ歌舞伎 曽根崎心中」、5月公開「SUPER BEAVER LIVE & DOCUMENTARY 現在地」、などの番組を編成いたしました。

飲食部門の名古屋市千種区の「覚王山カフェJi.Coo.」では、安全で健康にも配慮した食材を使用した商品を提供するとともに、イベント等も積極的に実施してまいりました。

名古屋市中村区の「ミッドランドシネマ ドーナツ ファクトリー」では、映画とのコラボレーション商品や季節商品の開発について、積極的に実施してまいりました。

この結果、当事業では売上高は8億54百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は24百万円（前年同期はセグメント利益2百万円）となりました。

【アド事業】

アド事業においては、お客様のニーズを捉えた営業活動を継続し、顧客満足度をあげるよう努めてまいりました。しかしながら、資材の高騰による影響等もあり厳しい状況で推移いたしました。

その結果、売上高は1億3百万円（前年同期比71.7%増）、セグメント損失は6百万円（前年同期はセグメント損失9百万円）となりました。

【不動産賃貸事業】

不動産賃貸事業においては、前期の既存不動産物件の賃料水準の引き上げもあり、概ね堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は32百万円（前年同期比13.0%増）、セグメント利益は8百万円（前年同期比34.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は57億59百万円となり、前事業年度末に比べ1億29百万円の減少となりました。主な要因は、流動資産の減少1億19百万円となっております。

負債合計は、21億26百万円となり、前事業年度末に比べ1億57百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債の減少1億49百万円となっております。

純資産は、36億33百万円となり、前事業年度末に比べ28百万円の増加となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和9年3月期の業績予想につきましては、令和8年5月13日公表時から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和8年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	800,244	731,752
受取手形及び売掛金	312,278	263,302
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	14,278	14,666
原材料及び貯蔵品	9,740	10,740
前払費用	34,065	32,487
預け金	37,458	31,026
その他	28,530	33,086
流動資産合計	1,536,597	1,417,062
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,314,563	1,306,982
構築物（純額）	40,039	39,741
機械装置及び運搬具（純額）	60,473	59,080
工具、器具及び備品（純額）	231,627	215,895
土地	695,913	695,913
建設仮勘定	248,508	251,217
有形固定資産合計	2,591,124	2,568,830
無形固定資産		
電話加入権	1,147	1,147
ソフトウェア	83,357	76,243
無形固定資産合計	84,505	77,391
投資その他の資産		
投資有価証券	1,189,141	1,216,277
関係会社株式	10,000	10,000
差入保証金	456,745	451,785
長期前払費用	20,685	18,014
投資その他の資産合計	1,676,573	1,696,076
固定資産合計	4,352,203	4,342,298
資産合計	5,888,800	5,759,361

(単位：千円)

	前事業年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期会計期間 (令和8年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	418,008	395,332
短期借入金	110,000	110,000
1年内返済予定の長期借入金	34,992	34,992
リース債務	74,752	69,855
未払金	14,924	17,899
未払法人税等	42,691	6,680
未払消費税等	111,930	-
未払費用	124,776	128,119
契約負債	68,531	70,413
従業員預り金	10,915	6,807
賞与引当金	19,268	9,875
その他	46,312	77,216
流動負債合計	1,077,104	927,191
固定負債		
長期借入金	518,354	509,606
リース債務	118,333	103,490
退職給付引当金	86,388	87,880
長期末払金	62,120	60,585
資産除去債務	92,975	93,356
受入保証金	75,020	75,020
繰延税金負債	253,766	268,956
固定負債合計	1,206,958	1,198,895
負債合計	2,284,062	2,126,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	270,000	270,000
資本剰余金		
資本準備金	13	13
資本剰余金合計	13	13
利益剰余金		
利益準備金	67,500	67,500
その他利益剰余金		
配当準備積立金	27,513	11,596
別途積立金	2,380,000	2,380,000
繰越利益剰余金	326,795	352,639
利益剰余金合計	2,801,809	2,811,735
自己株式	△72,618	△72,618
株主資本合計	2,999,204	3,009,130
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	605,533	624,143
評価・換算差額等合計	605,533	624,143
純資産合計	3,604,738	3,633,273
負債純資産合計	5,888,800	5,759,361

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
売上高	912,317	990,921
売上原価	456,509	501,840
売上総利益	455,808	489,081
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	14,561	15,015
人件費	167,542	169,394
賞与引当金繰入額	9,690	9,875
退職給付費用	3,308	1,492
減価償却費	47,198	45,428
地代家賃	100,152	100,377
水道光熱費	20,031	19,648
修繕費	995	980
その他	93,345	99,816
販売費及び一般管理費合計	456,826	462,028
営業利益又は営業損失(△)	△1,017	27,052
営業外収益		
受取利息	940	1,317
受取配当金	9,554	11,198
その他	879	538
営業外収益合計	11,375	13,054
営業外費用		
支払利息	1,639	2,327
長期前払費用償却	1,567	1,667
その他	135	235
営業外費用合計	3,342	4,230
経常利益	7,014	35,876
特別損失		
固定資産除却損	1,979	-
特別損失合計	1,979	-
税引前四半期純利益	5,035	35,876
法人税等	4,990	10,033
四半期純利益	45	25,843

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期 損益計算書 計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	781,228	—	—	781,228	—	781,228
飲食店関連	41,802	—	—	41,802	—	41,802
看板製作及び広告関連	—	60,389	—	60,389	—	60,389
顧客との契約から生じる収益	823,031	60,389	—	883,421	—	883,421
その他の収益	—	—	28,896	28,896	—	28,896
外部顧客への売上高	823,031	60,389	28,896	912,317	—	912,317
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	823,031	60,389	28,896	912,317	—	912,317
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	2,417	△9,553	6,118	△1,017	—	△1,017

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期 損益計算書 計上額
	シネマ	アド	不動産賃貸	計		
売上高						
映画館関連	813,692	—	—	813,692	—	813,692
飲食店関連	40,900	—	—	40,900	—	40,900
看板製作及び広告関連		103,664	—	103,664	—	103,664
顧客との契約から生じる収益	854,593	103,664	—	958,257	—	958,257
その他の収益	—	—	32,663	32,663	—	32,663
外部顧客への売上高	854,593	103,664	32,663	990,921	—	990,921
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	854,593	103,664	32,663	990,921	—	990,921
セグメント利益又は セグメント損失(△)	24,902	△6,095	8,245	27,052	—	27,052

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりです。

	前第1四半期累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
減価償却費	57,931千円	56,219千円